

白杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	課名 学校教育課
-----------	-------------

コード	V-12-23	施策名	乳幼児教育の充実	
まちづくりの 目標	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っこが育つまち(学び)		施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる
5年後の めざす姿	幼児教育に携わる大人は、子どもを一人の人間として尊重し信頼関係を十分に築き、子どもが発達段階にふさわしい経験を積み重ね、子どもが自主的・主体的に「しらしんけん遊び」ことのできる環境づくりに取り組みます。			
施策の課題	基本的な生活習慣を家庭においてしっかり育みます。地域で子どもを育てるという意識を持ち、登下校時見守りやあいさつ、声掛けなどを行います。公民館や学校、幼児教育施設などで家庭教育学級を行い、乳幼児期に身に着けたい力を保護者が理解し、幼児教育施設等と協力して乳幼児教育を充実させます。			

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	家庭教育学級など親育ちのための学習の場の提供	事業実績	目標	箇所	6	8	10	7	7	
			実績	7	2	2	2	2		
			達成率	%	33.3%	25.0%	20.0%	28.6%	28.6%	
	幼小連携事業実践小学校数	幼小連携事業実践数	目標	校	13	13	13	13	13	
			実績	13	13	13	13	13		
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	幼児教育アドバイザー・幼小連携推進コーディネーターを活用した園数	幼小のつながりある教育の実践のためにアドバイザー等を幼児教育に活用した幼児教育施設の数	目標	園	12	12	12	11	11	
			実績	12	12	12	12	11		
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析								

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度	
向上領域	2.64	2.11		
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域				
浸透度			77.99%	
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	見直し領域	向上領域	向上領域	

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 幼稚園費	幼稚園教育を行う公立幼稚園の教諭が参加する研修参加費や研修旅費	学校教育課	16	-	無	-	-	-	
2 幼小連携研修会	小学校・ <b>幼児教育施設</b> に入学・入園する児童・園児の情報交換や意見交流を通して <b>幼児教育施設</b> ・小学校の連携を推進し、小学校への滑らかな接続を行います。	学校教育課	73	-	無	順調	向上	貢献度中	
3 乳幼児教育基本方針策定及び周知	就学前までに育ってほしい子どもの姿と身につけてほしい子どもの力、そのための乳幼児期に大切な教育内容を明確に示しています。家庭教育を基本としながら <b>幼小</b> ・家庭・地域がつながって実現するための協議会を設置し周知していきます。	学校教育課・社会教育課・子ども子育て課	-	-	無	概ね順調	向上	貢献度中	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			89	-					

※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る  
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	家庭教育(親力)を向上させるために、社会教育での講座や <b>幼児教育施設</b> 、学校で保護者対象の学習会が必要です。今後は、地域全体で子どもを育てる機運を高めることが課題です